

米国環境保護庁  
ワシントン D.C.20460

大気放射局

2011年10月6日

データセンター用ストレージ製造事業者またはその他関係者各位：

米国環境保護庁（EPA）は、添付のENERGY STAR®データセンター用ストレージ基準バージョン1.0の第2草案に対する意見を歓迎する。第2草案に対する意見は、**2011年11月4日までにEPAに提出すること**。

第1草案の公表以降、EPAは様々な関係者と協力し、この新たなENERGY STAR製品区分に対する方針の修正や明確化に取り組んできた。添付の第2草案には、本プログラムが市場において性能上位製品をすぐに明示できるようにする対象範囲と効率要件の案が示されており、また将来の更に堅実な効率基準値を支持するための規定が含まれている。提案に対するEPAの論理的根拠や重要な協議事項は、本書全体にわたって示されている注記枠に明記されている。以下の主な変更が本草案において行われた。

- 一般書式化とパートナーの責務：基準書の構成と章節は現在ENERGY STARの書式要件と一致している。関係者は、ストレージ機器との関連におけるENERGY STARマークの使用に対する修正案について、特に検討することが奨励される。
- 定義：EPAは、基準書における既存および新規の定義を検討し、潜在的な矛盾を特定するために、これらの定義をthe 2011 Storage Networking Industry Associations (SNIA) 辞書と比較した。定義は、本基準における使用に対して十分記述的であることが判明した2011 SNIA辞書と整合されている。当初よりSNIAのストレージ分類法から引用されている製品分類の定義は、*SNIA Emerald™ 電力効率測定仕様 (Power Efficiency Measurement Specification)*<sup>1</sup>に示されている最新の内容と一致するように修正された。
- 製品群（ファミリー）：製品群の構成は、「ブックエンド方式」を推進するEPAの提案を反映し修正された。この方式は、ENERGY STAR適合としての販売を予定する最大および最小の構成（必ずしも選択可能な構成群の両端ではない）を代表する、構成群の最大および最小の点を評価することによって代表試験方法を規定する。
- プログラムの対象範囲：本プログラムのバージョン1.0の対象範囲は、*SNIA Emerald™ 電力効率測定仕様 (Power Efficiency Measurement Specification) バージョン1.0 (2011年8月23日)* において定義される、オンライン-2、オンライン-3、およびオンライン-4を含むように固定化された。EPAは、将来のプログラム改定において、市場の別の部門を検討する予定である。
- 電源装置：すべての主要電源装置に対する効率および力率の要件は、Climate Savers/80 Plus Silverの要件と一致する水準に設定された。ストレージ電源装置に関して業界が収集したデータによって修正が妥当であると明らかになった場合、本提案は再検討される予定である。更に関係者は、第三者により製造された「内蔵型」のハードウェア（例：ネットワークスイッチ）に関連する電源装置について懸念を示した。本件に関連し、表3には代用語が表記されており、EPAは本件に対する関係者からの意見および提案を奨励する。

<sup>1</sup> [http://www.snia.org/tech\\_activities/standards/curr\\_standards/emerald](http://www.snia.org/tech_activities/standards/curr_standards/emerald)

- 効率基準値：今後の稼働モード効率要件の裏付けとするために、EPAは、ストレージ基準の最初のバージョンについては、まず特定の主要データの報告を要求するつもりである。これは、データセンター用ストレージ製品を所定の稼働モード試験方法を使用して評価し、その結果を消費電力と性能のデータシート（Power and Performance Datasheet）の一部として、ENERGY STARプログラムを介して一般に公表することを求めるものである。EPAは、稼働状態評価およびデータ公開の基礎として、*SNIA Emerald™ 電力効率測定仕様 (Power Efficiency Measurement Specification) バージョン1.0 (2011年8月23日)* を使用することを提案する。
- 稼働準備 (レディ) アイドル：稼働準備アイドル時消費電力制限値の枠組みも含まれている。EPAは、稼働モード効率の公開に加え、最終的には本要件について設定される消費電力制限値を満たすように製品に求めることを提案する。
- エネルギー効率特性：ENERGY STARデータセンター用ストレージ製品が、最高のエネルギー消費効率のプラットフォームを提供することを確保するために、EPAは、本プログラムにおいて適合となった製品すべてに必須とされる、基本特性の一覧を提示している。EPAは、これら特性に対処するための新たな章節を追加しており、この特性一覧に関する関係者からの情報および意見を歓迎する。

EPAは、2011年10月13日木曜日、フロリダ州オーランドにおけるStorage Networking World(SNW) Fall 2011会議において、関係者会議を開催する予定である。実際に会場に出席できない関係者のためにオンライン会議の回線も用意される。議題は、第2草案の内容、製品群（ファミリー）、およびその他主要項目が中心となる予定である。参加希望者は2011年10月11日火曜日までに、その旨を[storage@energystar.gov](mailto:storage@energystar.gov)宛に送信すること。その際、メールの件名には「RSVP – Storage SNW October 13 Meeting」と表記し、本文中に「実際に会場に出席する (in-person)」のか、あるいは「通信回線を利用して出席する (remote attendance)」のかを明記すること。

関係者は、第2草案を検討し、意見を2011年11月4日までに[storage@energystar.gov](mailto:storage@energystar.gov)宛に送信することが奨励される。これまでの基準策定活動に関する詳細な情報については、ENERGY STAR基準策定ウェブサイト ([www.energystar.gov/NewSpecs](http://www.energystar.gov/NewSpecs)) から「Data Center Storage」のリンクに進み参照すること。

ENERGY STARプログラムへの継続的な支援に感謝する。具体的な質問は、直接EPAのRJ Meyers ([Meyers.Robert@epa.gov](mailto:Meyers.Robert@epa.gov)または202-343-9923) あるいは、ICF InternationalのEvan Haines ([ehaines@icfi.com](mailto:ehaines@icfi.com)または202-572-9456) まで連絡してほしい。

Sincerely,

Robert Meyers

U.S. Environmental Protection Agency, Climate Protection Partnership Division  
ENERGY STAR Program